

町民の皆さんと共に考える 地方創生：人口減少問題

昨年衝撃的な人口推計が公表されました。その内容は、2008年をピークに日本の人口が減少に転じ、現在の1億2700万人から45年後の2060年には8600万人まで落ち込むというものでした。そして、この人口減少は、新冠町も例外ではなく、現在の5700人から2060年には2700人まで減少するという推計結果となりました。

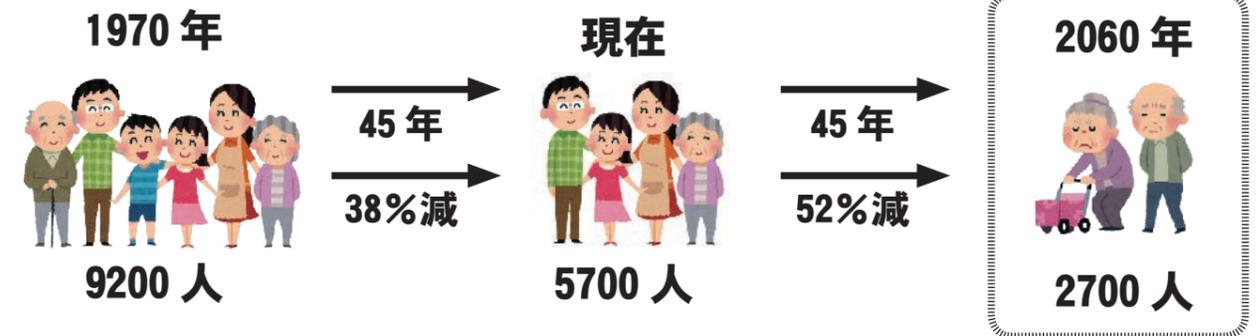
ここまで人口が減少すると言われる要因は、札幌や東京など都市圏への人口の流出と低出生率とされており、仮に、この推計のとおり人口減少が進むと、商店や会社、医療機関や学校などは減少し、公共サービスも低下せざるを得なく、その影響は計り知れません。

町では、「新冠町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定本部」を立ち上げ、この問題に対応する調査・分析を行い、より良いまちづくりを行うための「人口ビジョン」や「総合戦略」などの策定準備を進めております。

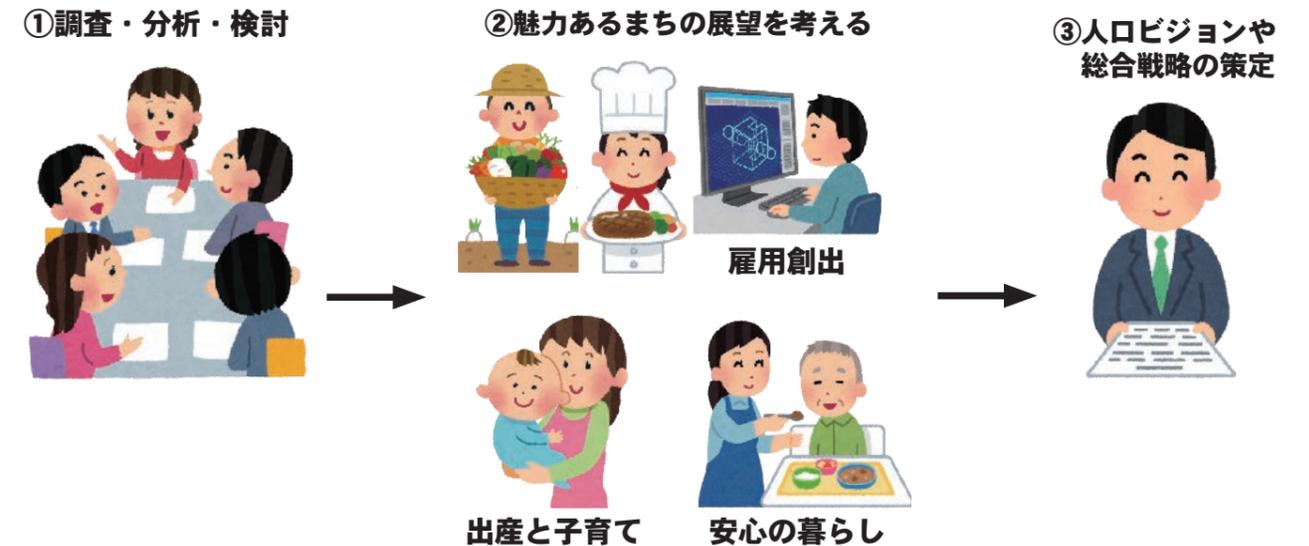
町民の皆さんにつきましても、アンケート調査や各種会議などを通じて、問題提起や意見集約などのご協力をお願いしていくこととなります。

広報にいかっぶでは、この問題について広く周知し、新冠町の未来について、町民の皆さんと一緒に考えるきっかけとなるよう、「地方創生」に関わる特集記事を掲載していきます。

新冠町人口の推移と推計



この問題に対応する施策の策定プロセス



地方創生：新冠町の子育て事情を考える 座談会①子育て世代の方々にお聞きします！

教えてください、子育てで悩んだこと、感じたこと、まちの魅力！

人口減少の原因の一つに、少子化の問題があります。新冠町の出生率は1.4人と管内でも低い状況です。

この状況を改善していくためには、出産や子育て環境を充実させ、子育てしやすいまちづくりを進めることが重要となりますが、では、実際に町内で子育てをしてき

た人たちは、どんなことを思い、何を悩んできたのか、また、何に助けられ、どこに魅力を感じているのかを知ることが、課題解決の第一歩となるかと思えます。

今月の特集は、子育てを経験した4名の方にお集まりいただき、新冠町の子育て事情をお聞きしました。

座談会に参加いただいたのは、お子さんが5歳から12歳までの子育て中のお母さんたちです。
メンバーは、町内の地域性などを考慮して4名を選出。そこに、広報担当者も加わり意見交換をしました。座談会は、特に話題を決めずに、それぞれの子育て経験に基づいて自由に話しをしていただきました。なお、個人の特定を避けるため、参加者の氏名については掲載していませんので、「了承ください」。

一番大変だったのはどんな時ですか？
●一番大変だったのは、子どもが病気を患って入院した時です。体調不良の原因がわからず、おう吐する子どもを車に乗せ、1時間も2時間も運転し、病院を転々とした時のことは、今でも鮮明に覚えています。また、看護と仕事と育児の両立もとても大変でした。
●新冠には小児科が無いので、新ひだかに通っていますが、小児科の先生によつては、静内から三石にも行く必要があるのですが、やはり大変です。
●病院まで30分くらいで行けると助かります。病院でも診察までかなり待たされるので、ネットで予約ができる所は助かります。
また、私は、体が弱い子を受けかたて、初めて、病院に通う大変さを実感するようになりました。

私は、このあたりの病院で希望する診察を受けられるか不安なので、まず先に、苦小牧や札幌の大きな病院に行くことが多いです。そして、診断を受け、状況によって、近くの病院に変えたりしています。
●町の助成制度と認定こども園について
●病院選びや通院に関しては、不便を感じてしましますが、最近すごく助かることは、子どもの医療費が無料になったことです。この制度ができて、とても助かっています。
(全員うなずく)
●出産時にも、色々な助成を受けられるようになりましたよね。これも良いと思います。
●他町にも同様の助成制度があります。新冠は他の地区と比べて助成額が高かったり、条件が良い気がします。
●4月から、ドレミの保育料が安くなったのも嬉しいですね。
●我が家は、兄と妹で通った幼稚園が異なります。だからこそ、ドレミの良さを感じます。
運動会でも「みんなでやるう」という雰囲気があり、自分の子どもだけでは無く、みんなでも子どもたちを応援する感じが好きです。
●私の子どもは、地域保育所とドレミに通ったのですが、ここを比べると今のドレミは、規模が大き過ぎるように感じます。

子育て中の地域との関わりについて
●山間部で生活していると人に会いづらいですね。今日は馬や牛としか話していないという日がよくあるので、ドレミに行く、他の人と話ができるのが嬉しかったです。
●私も結婚して1・2年は、家にいるようにしていたのですが、誰にも会わない、このままだと喋り方も挨拶の仕方もう忘れちゃう、おかしくなりそうでした。それで今は、外に出ることが多くなりました。
●私も子どもを幼稚園に通わせるまでは、家で子育てをしていましたが、市街地に住んでいても、状況はほとんど同じでした。自分と子どもとテレビだけという毎日でした。
でも、その経験があるからこそ、今は、何か事業があるときには、積極的に参